

第6回 袋井市水道料金等懇話会議事録

期 日 令和2年2月17日(月) 午後1時30分～3時30分

場 所 袋井市浅羽支所 1階 第1会議室

出席者 委員：兼子文夫、佐藤和美、宮原高志、伊藤静夫、水谷欣志、
川上政年、村田朝子（設置要綱順による 出席者7名）

市：部長、水道課(5名)、下水道課(4名)

コンサル：大場上下水道設計(2名)、日本水工設計(3名)

□ 質 疑

1. 水道事業について

委員B

意見書で重要なことは、袋井市の課題を取り上げて、その対策の必要性を示すことである。そして、料金改定は対策の一つであり、それ以外にも対策を講じていること、また、これから対策を講じるということを記載することである。そういった点では、この意見書は、良く読めばこれらのことが記載されていることが分かる。ただし、料金改定は対策の一つであり、他にも対策を講じているということが読み取りにくい。

あと、P.3の現状と経営課題についてで、アセットマネジメントを実施し、水道事業を持続していけるように我々は考えているということは記載されているが、経営課題については少ししか記載されていない。次のページから経営課題については詳しく記載されているので、そちらと重複するとしても、P.3にも経営課題を記載した方が良いと思う。

委員A

事務局から資料を受け取った際に、書類の中での数字には整合を図った方がいいと若干の修正を依頼したが、数字や表現について注文はあるか？委員Dはどうか。

委員D

2点ある。一つは質問だが、P.3などに「水道施設(ハコモノ)」とあるが、「ハコモノ」と記載する理由は。

水道課長

水道施設の更新計画を「管路」と「配水池、浄水施設、建築等」で分けて策定したため、「管路」に対して「ハコモノ」と表現している。

委員D

「ハコモノ」の一般的なイメージは「建物」であるが、水道施設は「建物」以外にも種類がある。わざわざ「ハコモノ」と表現する必要があるのかと思う。

水道課長

「管路」に対し、施設全般を指して「ハコモノ」と表現している。

委員A

通例として、議会や事務局では「ハコモノ」という表現が使われているのか？この報告書のために「ハコモノ」という表現をしたのか。

水道課長

「ハコモノ更新計画」という更新計画がある。議会等にも「ハコモノ」という表現で報告している。

委員D

P. 5の最後4段の表現について、「非常時のこうした事態に水道水を確保するため、実施シナリオの策定として、地震や風水害等のリスクによる箇所の特定制と被害の影響度、断水や渇水等の発生確率、実施優先順位の決定の詳細な計画」ではないか。

水道課長

ご指摘のとおりである。

委員D

それと、最後の文章で「その実行のための必要な人材の確保を望みます」と続くのではないか。

先ほどの委員Bの意見は、現状についての記載が少ないということだと思う。現状の把握があまり述べられていないため、問題点が一点に集中して解決方法が料金改定だけになってしまっていると思う。

水道課長

水使用量や料金収入の減少等をP. 3に追記し、それらが課題につながるような文章に改める。

委員H

P. 3の最後の文章で、「費用の財源を確保する」という部分で、市民感情を考慮すると、「必要な費用の財源を補い」という方が良いのでは。

水道課長

市民感情を考慮した表現に改める。

委員G

P. 7の表が1ヶ月表記であることは前回も議論となったが、参考資料の表が2ヶ月分であることから、P. 7の表にも2ヶ月の料金を併記した方が分かりやすいのではないか。

あと、P. 11の最後の文章で「対応を検討して頂くことを要望」とあるが、具体的な対応は今後の検討課題であるが、もう少し具体的な内容に出来な

いか？

水道課長

P. 7の表については、前回の懇話会で、条例が1ヶ月表記であるためと説明させて頂いたが、参考資料のP. 1の表は2ヶ月表記に改める。

P. 11の表現については、基本料金や基本水量といったことが具体的な対応となると思われるので、それらの記載を追加する。

委員F

参考資料の位置づけが分からない。議会用なのか。

水道課長

参考資料は本日の懇話会の資料のつもりで用意した。

委員A

参考資料は意見書と一緒に議会等に提出されるものではないのか。

水道課長

はい。

委員A

P. 11のまとめの部分で、委員Gから具体的な内容の記載をとの意見がでたが、他に意見はあるか。

委員G

具体的な対策については、他の担当課に任せるということではなかったか。

委員H

福祉課の方でという話だった。福祉政策としてどういうことをやってくれるのか、多少なりとも具体策が記載してあると説得力があると思う。

水道課長

それについては、P. 21のまとめの最後の文章に、「上下水道事業とは別の部門において対応を進めていただけるように望みます」と記載している。これは水道、下水道の共通の問題であるため、まとめに記載した。

委員A

それではP. 11までの水道の部分は、委員から出た意見をもとに、改めて確認して頂きたい。

~~~~~ 休 憩 ~~~~~

## 2. 下水道事業について

### 委員A

総括的な意見として、委員Cは何かあるか。

### 委員C

上手くまとまっているかと思う。特に修正箇所はない。

### 委員A

他に、文言等で分かりづらい点などあるか。

### 委員B

下水道はまだ建設段階であるため、下水道整備の3つの目標など整備を進める意義や合併処理浄化槽も含め、これまでの整備による効果を12ページの中段あたりに追記すると良いのではないか。

### 委員A

16ページの「150円まで上げなければならず」と強い言い方だが、いいか。

### 委員H

「ならず」という強い言い方は必要だと思う。12ページにおいて、目的を明確にすることで、強く感じなくなるのでは。また、何のために下水道の整備を進めるのか必要性をアピールすると良いのでは。

また、17ページについて、「安定的収入」よりも「必要な」という表現の方が市民に添った言い方になると思う。

### 委員B

「安定的かつ必要な」という表現でも良いのでは。

## 3. まとめについて

### 委員A

本日が最後の懇話会になるので、これまでの感想を含めて、まとめについて発言をお願いしたい。

### 委員G

上下水道について知らない状態で懇話会に参加し説明を聞いてきたが、水の大切が理解でき、安定的に使用するためにはどうしたらいいのかということも少しは理解できた。

5年後にも懇話会が開催されるということだが、いろいろと状況が変わりやすい時期だと思うが、協力できることがあれば協力させて頂きたいと思う。

#### 委員F

懇話会に参加し勉強させてもらい、水道、下水道が大変厳しい状況にあって、料金改定が必要ということが理解できたが、これを市民の方に理解してもらうのは、なかなか大変なことだと思う。値上げのことであるため、賛成する方はいないと思うし、どこまで理解して頂けるかということだと思う。4回までの資料は分かりやすかったが、意見書は文字が多く分かりにくくなった。市民の方には分かりやすい資料と説明をお願いしたい。

#### 委員H

勉強になった。まとめ方は良い内容だと思う。しかし、委員Fと同じで、いかに市民に理解して頂くかというのが一番の問題である。市民の目線で分かりやすい資料を作って、幅広く啓発して頂きたい。

#### 委員D

これまで水道、下水道について無頓着でいたが、勉強させてもらった。まとめは良いと思う。ただ、文章になると分かりにくい。課題は何かということを確認にし、その要因は何か、それに対する最適案は何か、将来起こるリスク、こういった観点からまとめてもらえれば分かりやすいと思う。

公共事業というのは、皆さん生活環境が異なるため大変だと思うが、継続的にやっていくためには、経営状態が良くないということは理解してもらえと思う。その説明として、論理的に説明すればもっと分かりやすくなると思う。まとめは良いと思うので、それまでの過程を分かりやすくして欲しい。

#### 委員C

水道料金等懇話会ということで、料金について焦点を当てて6回参加させてもらい、大変勉強になった。昨今良く耳にする「SDGs」と関連付けると、上下水道事業が持続的に次の世代に引き継がれるものとなるように料金改定について勉強させてもらったが、一定の将来の見通しが持てる提言となったと思っている。

#### 委員B

今回の改定は、下水道が20%、水道が11.4%で合わせて30%を超える改定率であり、激変緩和もないとなると、厳しい結果だと感じている。ただし、その必要性を丁寧に説明する必要がある。課題やその対策、料金改定以外に行っている対策を説明しながら、かつ、料金改定が社会資本の維持管理のためには必要だということを、丁寧に分かりやすく説明する必要がある。

意見書については、必要なことはまとめられていると思うが、原因・問題点・対策が分かりやすくまとめられていると、より理解が深まると思う。

袋井市の上下水道が今後も適切に維持管理されることを祈念する。

#### 委員A

それでは意見書の審議については終了とする。

意見書は最終的に市長に提出するものとなるが、修正した意見書は正副会長が内容を確認し、市長に提出するということが良いか。

#### 委員一同

お願いします。

#### 委員A

前回から引き続き参加させて頂いたが、時が移れば内容が変わってきおり、委員の皆さんの意見にもあるが、丁寧に説明するということは前回の時よりも重要性が増している。また、前は市長から「上げることがありきではない」とのメッセージがあったが、社会資本の充実という時期から、効率的に維持して事業を継続するという時期への転換期であり、大変な段階にあると思う。技術論だけでなく、予測できない事態も出てきているため、そういうことへの対応も難しい。ただ、料金というベースがなければ出来ないため、5年後に懇話会が開催されるときに、委員に指名された方は、是非よろしくご討議の程お願いしたい。

長い間ありがとうございました。